

第34回

浦添市学校保健研究大会

心豊かにたくましく生きる幼児・児童・生徒の育成

～学校保健・安全・給食指導等の実践を通して～



期日：平成26年2月20日(木) 14:30～16:45

会場：浦添市ハーモニーセンター

主催：浦添市学校保健会

共催：浦添市教育委員会 浦添市PTA連合会

目 次

1	あいさつ	浦添市学校保健会会長	田場 栄作……………	2
2	あいさつ	浦添市教育委員会教育長	池原 寛安……………	3
3	研究大会要項		……………	4
4	講 演		高見 知佳……………	7
5	研究部会の部長、発表者及び研究テーマ		……………	9
6	研究発表			
	(1) 保健部会	(沢岬小学校) 金城 正……………		11
	(2) 安全部会	(宮城小学校) 内間かおり……………		21
	(3) 給食部会	(仲西中学校) 新城 裕美……………		31
	(4) 生徒保健委員会 (浦添中学校保健委員会 担当教諭) 宜保久美子……………			41
		(浦添中学校 保健委員長) 伊是名美紅……………		42
7	資 料			
	○平成25年度浦添市学校保健会役員及び理事一覧表		……………	45
	○浦添市学校保健会組織		……………	46
	○研究グループローテーション表及び研究大会における運営係について……………			47
	○平成25年度研究部会一覧表 (名簿)		……………	48
	○浦添市学校保健会功労者 (個人・団体) 一覧		……………	49
	○文部科学大臣賞・沖縄県学校保健会会長賞 功労者		……………	51
	○浦添市学校保健研究大会 講演一覧		……………	52



あいさつ

浦添市学校保健会

会長 田場 栄作

本日、第34回浦添市学校保健研究大会の開催にあたりごあいさつを申し上げます。本研究大会にご参加いただきました皆様方におかれましては、日頃から本市の児童・生徒の健康教育の推進や健康の保持増進のためにご尽力なされていますことに、心から感謝申し上げます。

さて、近年の社会環境やライフスタイルの急激な変化は、子どもの心身の健康にも大きな影響を与えております。学校生活においても生活習慣や食生活の乱れ等に起因する肥満や生活習慣の兆候がみられます。また、いじめ、不登校、児童虐待などのメンタルヘルスに関する課題、アレルギー疾患、性に関する問題行動や飲酒、喫煙、薬物乱用、感染症など、現代的な健康課題も多様化・深刻化しております。子どもが被害者となる事件・事故や自然災害に対応するための学校安全、「防災教育」等の充実も課題となっています。

昨年、8月には浦添市をメイン会場に「九州地区健康教育研究大会」が開催されました。九州各県より多くの参加者があり、健康教育に関する諸課題について協議がなされ、生涯にわたり心豊かにたくましく生きる子どもの育成として多くの成果が得ることができました。

この様な中、本研究大会では、「心豊かにたくましく生きる幼児・児童・生徒の育成」～学校保健・安全・給食指導等の実践を通して～を研究テーマとして、市内11小学校、5中学校の関係者が3部会に分かれ、研究テーマのもと研究を推進してきました。今回は、保健部会・安全部会・給食部会・生徒保健委員会においてテーマにせまる実践発表があり、その成果が大きく期待されるところです。

また、本日は「私の子育て論～読み語りを通して～」と題して、マルチに活躍しておりますスーパー主婦、高見知佳さんによるご講演があります。読み語りを通し、親と子どもの心の成長につながる示唆を与えていただけるものと確信しています。ご講演をお引き受け下さり心より感謝申し上げます。

結びに、本大会の活動にご理解ご協力を賜りました浦添市教育委員会をはじめ、物心両面からご支援をいただきました浦添市医師会、歯科医師会、薬剤師会及び浦添市PTA連合会、各幼稚園・学校、関係各位に暑く感謝を申し上げ、あいさつといたします。

平成26年2月20日



あいさつ

浦添市教育委員会

教育長 池原 寛 安

第34回浦添市学校保健研究大会が開催されるにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

本日お集まりの皆様方には、平素より本市の学校保健の充実・発展にご尽力を賜り厚くお礼を申し上げます。

近年、社会状況等の変化に伴い、子どもたちの生活習慣の乱れ、メンタルヘルスに関する課題、アレルギー疾患、性の問題行動や薬物乱用、感染症など、様々な課題が生じています。さらに、登下校時の安全確保や食生活が原因となる肥満や生活習慣病の兆候、また、いじめや不登校といった心の健康などが大きな社会問題となっており、その適切な対応が強く求められています。

このような社会環境の変化に対応するためには、学校保健関係者が連携し、それぞれの専門性を生かしながら、生涯にわたって健康で安全な生活を自ら実践する幼児・児童・生徒の育成を図り、学校における健康教育を充実させることが必要不可欠であります。

このような折りに、浦添市学校保健会が幼児・児童・生徒の健康の保持増進をめざし、保健主事、安全主任、養護教諭、栄養教諭や学校栄養職員、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、そしてPTA関係者等が一堂に会し、本研究大会が開催されることは大変意義のあることと考えております。

さて、本年度は浦添市学校保健会会則の改正に伴い、これまであった6つの研究部会が保健、安全、給食の3つの部会に再編され、この一年間の研究の成果を発表すると伺っております。さらに浦添中学校生徒による保健委員会での活動報告も予定されており、それぞれの発表が、今後の教育実践に活かされるとともに、様々な健康問題の解決の糸口となり、各学校の健康教育がますます充実・発展するものと大きな期待を寄せているところであります。

また、本日は自称スーパー主婦の高見知佳氏を講師にお招きし、「私の子育て論～読み語りを通して・・・」の演題でご講演を拝聴できますことは、今後の本市健康教育の充実に向けて大きな示唆を与えていただけるものと確信いたします。

学校における健康教育の推進においては、本日お集まりの皆様方のご協力が不可欠であり、本研究大会の成果がそれぞれの学校や地域で活かされるよう、より一層のご支援をお願いいたします。

結びに、本研究大会の企画・運営にあたりご尽力くださいました浦添市学校保健会の役員並びに関係者の皆様に対し深く感謝を申し上げますとともに、本研究大会が今後ますます充実・発展されますよう祈念申し上げ、ごあいさつといたします。

平成26年2月20日

第34回浦添市学校保健会研究大会開催要項

1. 趣 旨

近年における社会環境の急激な変化は、子どもたちの心身の発達に様々な影響を与えている。このような中、浦添市の学校保健関係者が参集し、学校・家庭・地域社会の連携のもと、保健・安全・給食指導等のあり方やその実践方法上の諸問題について研究協議を行い、健康で安全な生活を自ら実践する幼児・児童・生徒の育成に資する。

2. 主 題

心豊かにたくましく生きる幼児・児童・生徒の育成
～学校保健・安全・給食指導等の実践を通して～

3. 主 催

浦添市学校保健会

4. 共 催

浦添市教育委員会 ・ 浦添市PTA連合会

5. 日 時

平成26年2月20日（木） 14:30～16:45

6. 場 所

浦添市ハーモニーセンター

浦添市仲間1-10-7 TEL: 098-874-5711

7. 内 容

- ・開会式
- ・研究発表（保健部会、安全部会、給食部会、生徒保健委員会）
- ・講 演

演 題：「私の子育て論 ～読み語りを通して～」

講 師：高見 知佳 氏

8. 日 程

14:15 (15分)		受 付
14:30 (10分)	開 会 行 事	<p>司 会：浦添市学校保健会副会長 野原 由賢（神森中学校教頭）</p> <p>1. 開会のことば 浦添市学校保健会副会長 親盛 徳三 （浦添市 PTA 連合会会長）</p> <p>2. 会長あいさつ 浦添市学校保健会会長 田場 栄作 （内間小学校長）</p> <p>3. 教育長あいさつ 浦添市教育委員会教育長 池原 寛安</p>
14:40 (10分)	実 践 発 表	<p>4. 実践発表</p> <p><保健部会></p> <p>「清涼飲料水に含まれる砂糖の量を知ろう」 沢岬小学校 教諭：金城 正</p>
(10分)		<p><安全部会></p> <p>「不審者に対する意識向上と危険察知・危険回避能力を高める 取組について」 仲西小学校 教諭：内間かおり</p>
(10分)		<p><給食部会></p> <p>「栄養教諭と連携した食育指導」仲西中学校 教諭：新城 裕美</p>
(10分)		<p><生徒保健委員会></p> <p>「喫煙防止活動報告」浦添中学校 保健委員長3年：伊是名美紅 （保健委員会担当 養護教諭：宜保久美子）</p>
15:20 (10分)	講 評	<p>5. 講 評</p> <p>浦添市教育委員会 学校教育課指導係長 平良 亮</p>
15:30 (60分)	講 演	<p>6. 講 演</p> <p>演 題：「私の子育て論 ～読み語りを通して～」</p> <p>講 師：高見 知佳 氏</p>
(10分)	質 疑	7. 質疑応答
16:40 (5分)	閉 会	<p>8. 閉会のことば</p> <p>浦添市学校保健会副会長 座覇 周平(南部地区歯科医師会)</p>

9. 参加対象者

- (1) 浦添市立小中学校長または教頭、保健主事、安全主任、給食主任、養護教諭
- (2) 浦添市学校保健会理事
- (3) 浦添市教育委員会の学校保健安全担当者
- (4) 共同調理場所長又は副所長、栄養士
- (5) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師
- (6) 学校保健会事務局等の学校保健・学校安全・学校給食関係機関の職員
- (7) PTA会員、関係者

講演

演 題：「私の子育て論 ～読み語りを通して～」

講 師：高見 知佳 氏

講演メモ



浦添市学校保健会

研究部会の部長、発表者及び研究テーマ

〈 平成 2 5 年度 〉

部会名	部長名	学校名	研究テーマ
	発表者		
保健部会	山田久美子	仲西小学校	「清涼飲料水に含まれる砂糖の量を知ろう」
	金城 正	沢岬小学校	
安全部会	比嘉 正和	内間小学校	「不審者に対する意識向上と危険察知・危険回避能力を高める取組について」
	内間 かおり	仲西小学校	
給食部会	新城 裕美	仲西中学校	「栄養教諭と連携した食育指導」
生徒保健委員会	宜保久美子 (担当教諭) 伊是名美紅 (保健委員長)	浦添中学校	「喫煙防止活動報告」
※保健部会（養護教諭、保健主事） ※給食部会（給食主任、栄養士） ※各部会、毎年浦添市学校保健研究大会において、実践発表及び紙上にて報告を行う。			

実践発表

〈 報告題 〉

保健部会

「清涼飲料水に含まれる砂糖の量を知ろう」



発表者

沢岷小学校

教諭：金城 正

保健部会（保健主事・養護教諭）

1 研究テーマ

清涼飲料水に含まれる砂糖の量を知ろう

2 テーマ設定の理由

水分補給は、人間の体にとって必要不可欠なものである。特に、子どもはおとなに比べて多くの水分を必要とする。しかし、今、新しく増え続ける清涼飲料水や、店頭に並ぶ多くの種類の飲み物を見ると、何を選んで飲むかを自ら考えていかなければならないと強く感じる。

子どもが好む飲み物には、糖分が多量に含まれているものが多い。

糖分（砂糖）の多い飲み物を過剰に摂取し続けると、むし歯や糖尿病だけでなく体に様々な影響を及ぼす。糖質は、エネルギーとして重要だが、摂取しても運動量が伴わず、エネルギーとして使われなかったりすると、肥満などの問題につながる。子どもの肥満は、将来の生活習慣病につながる危険性が高い。

砂糖の過剰摂取によるカルシウム不足や、清涼飲料水に含まれる添加物の影響もあるが、何気なく飲んでいる飲み物にも糖分が多く含まれていることを知り、正しい水分のとり方が自ら判断できるようにしたい。

3 研究経過

月	研究内容
6月	・浦添市学校保健会総会
7月 8月	・研究テーマの検討・研究計画を立てる ・資料収集・飲み物の糖度検査 ・指導案の検討・作成 ・提示資料・パワーポイント作成
9月 10月	・飲み物に関する事前アンケート ・指導案・パワーポイント検討
11月 12月	・各学校での保健指導実践 ・飲み物に関する事後アンケート ・研究のまとめ
1月	・研究のまとめ・原稿提出
2月	・浦添市学校保健研究大会発表

4 研究内容

（1）指導案

保健指導 「 清涼飲料水に含まれる砂糖の量を知ろう 」

1. ねらい

- ①子どもたちが手軽に口にしている清涼飲料水に含まれている砂糖の量を知り、知らない間に多くの砂糖を摂取していることに気付かせる。
- ②糖分(砂糖)を摂り過ぎると身体にどのような影響があるのかを知り、正しい水分の摂り方を知る。

2. 指導の流れ

	指導内容	指導上の留意点 ○予想される児童の反応 □教師の手だて
導入	1. 普段飲んでいる飲料水について振り返る。 「皆さん、喉が渴いた時に何を飲みますか？」	○・レモンティー ・コーラ ・水 ・カルピス ・CCレモン など □「清涼飲料水」とは何かを知らせる。
展開	2. 清涼飲料水に含まれる糖分(砂糖)と、子どもが一日に必要な砂糖の量について知る。 「糖分(砂糖)の働きは？」 「皆さんの好きな飲み物に入っている砂糖の量を見てみましょう。」 3. 糖分(砂糖)の摂り過ぎで起こる身体への影響について知る。 ・糖分(砂糖)を摂りすぎると？	□糖分の働きについて知らせる。 ・脳にエネルギーを与える。 ・幸せな気持ちにさせる。 □1日の糖分摂取量は20グラム程度であることを知らせる。 □清涼飲料水に含まれる砂糖の量を確認する。 提示資料を見ながら、糖分(砂糖)の量を比較させる。 □・むし歯ができやすくなる。 ・生活習慣病の原因となる肥満につながる。 ・行儀しやすくなり、やる気が起きにくくなる。 ・食事があまりたべられなくなる。 ・疲れやすくなる。 ・骨が弱くなる。
まとめ	4. 砂糖(糖分)を取り過ぎないように、正しい水分の摂り方を知る。	○・清涼飲料水を水がわりにしたり、食事の前に飲みすぎたりしない。 ・清涼飲料水は買い置きしない。 ・おやつ時にはお茶や水を飲むようにする。 ・清涼飲料水を飲むときはコップにつき分けて飲む。 □日常生活で「正しい水分の摂り方」が実践できるように言葉かけをする。 ○砂糖(砂糖)の少ない飲み物を選ぶ。

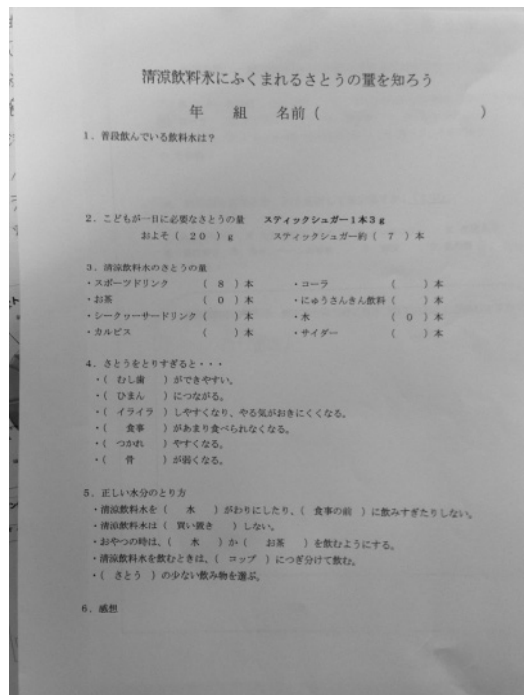
3. 評価

①清涼飲料水に含まれる砂糖の量を知ることができたか。

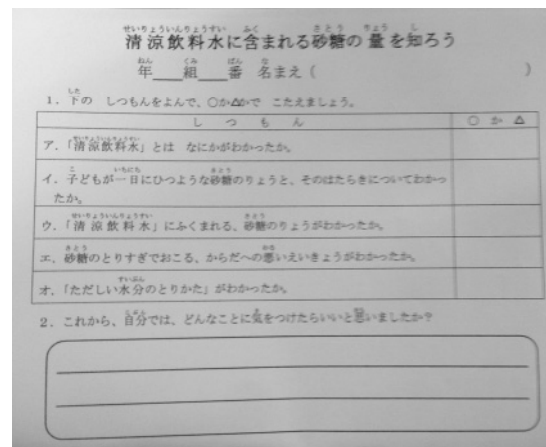
②正しい水分の摂り方を知ることができたか。

ワークシートを用い、それに記入された内容から確認する。

高学年用 ワークシート



低学年用 ワークシート



(2) 授業の様子



特別支援教室でも、授業を行いました。





(3) 提示資料





(4) 児童の感想

- ・まさか、自分がのんでいる物にこんなに砂糖が入っていると思わなかったので、びっくりしました。これからは、特別な時とかに、甘い物を食べようと思います。
(6年生女子)
- ・授業を受けて、砂糖は良い働き、悪い働きがあることを知りました。(6年女子)
- ・いつもあたりまえのように飲んでいるジュースが砂糖が多かったのでびっくりしました。次飲むときは、注意して飲みたいです。(6年男子)
- ・いつも飲んでいるアップルティーや、シークワァーサージュースには思っていた以上に砂糖が入っていて、びっくりした。(5年男子)
- ・食事の時には、水やお茶を飲んで、砂糖を取り過ぎないように、甘い飲み物は少なくする(5年女子)
- ・清涼飲料水の中にたくさんの砂糖が入っていることを知ってビックリした。アイスティー500mlの中に3日分の砂糖の量が入っている。お菓子や飲み物を摂るときは気をつけたいです。(小3男子)
- ・お菓子やジュースの組み合わせを考えたいです。(小2女子)
- ・砂糖は脳にエネルギーを与えるいいところもあるけれど、摂りすぎるとイライラしたりむし歯になりやすいということを知りました。(小2女子)
- ・小学生が1日に摂ってもよい砂糖の量は20gです。(小2男子)
- ・お母さんが飲んでいるコーラの中には、たくさんの砂糖が入っていることがわかりました。(小1男子)
- ・砂糖は、天使と悪魔になることがわかった。(小1男子)
- ・お菓子やジュースにはたくさんの砂糖が入っていることがわかった。(小1女子)
- ・好きなコーラにはたくさんの砂糖が入っていることを知ってビックリした。
(小1男子)
- ・コーラを飲むときは分けて飲みます。(小1女子)

(5) アンケート用紙・結果

飲み物に関する事後アンケート

年 男・女

1. 食事の時に一緒に飲みたい飲み物はどれを選びますか。(1つ)

ア. 水 イ. お茶 ウ. 牛乳 エ. 100%ジュース(野菜、リンゴ、オレンジ等)
 オ. コーラ カ. アップルティー キ. サイダー ク. レモンティー
 ケ. カルピス コ. レモンソーダ(ゼロレモン) サ. ヨーゴ、メイグル
 シ. その他()

2. 飲み物を買うとき、何を意識して買いますか。(1つ)

ア. あまいもの イ. あますぎないもの ウ. ノンカロリー エ. 炭酸入り
 オ. 量の多さ カ. キャンペーンの有無 キ. 値段 ク. 見た目
 カ. その他()

清涼飲料水の学歴後、飲み物を買う時に気をつけていることがありますか?

飲み物に関する事前アンケート

年 男・女

1. あなたの好きな飲みものに○をつけましょう。(3つ以内)

ア. 水 イ. お茶 ウ. コーラ エ. アップルティー オ. サイダー
 カ. レモンティー キ. カルピス ク. レモンソーダ ケ. ヨーゴ、メイグル
 コ. ()

2. あなたは、一週間にどれくらい清涼飲料水(水やお茶、100%ジュース以外)を飲みますか。

ア. 毎日 イ. 5~6日 ウ. 3~4日 エ. 2~1日 オ. あまり飲まない

3. あなたは、食事と一緒に飲みものを飲みますか。

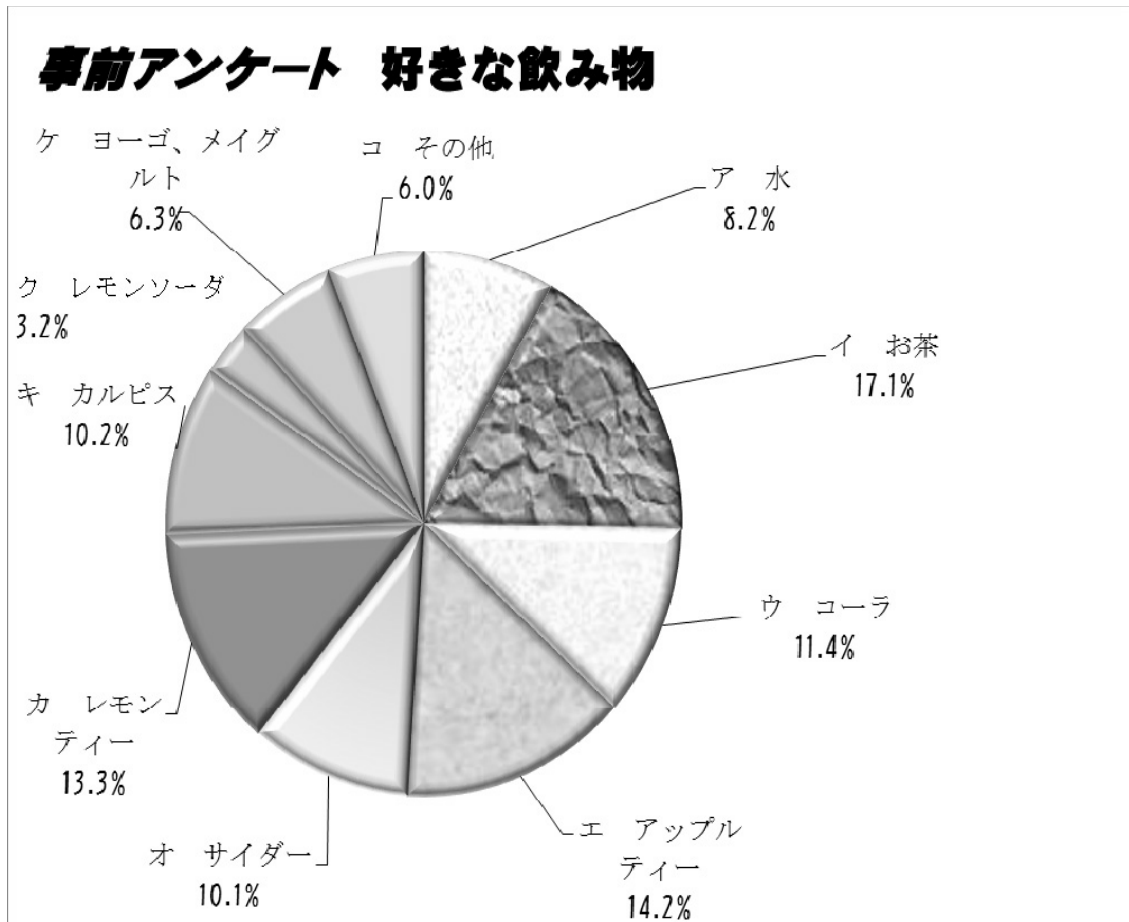
ア. はい イ. いいえ

4. 質問3で「はい」と答えた方に質問です。
 食事と一緒にどんな飲みものを飲みますか。(1つ)

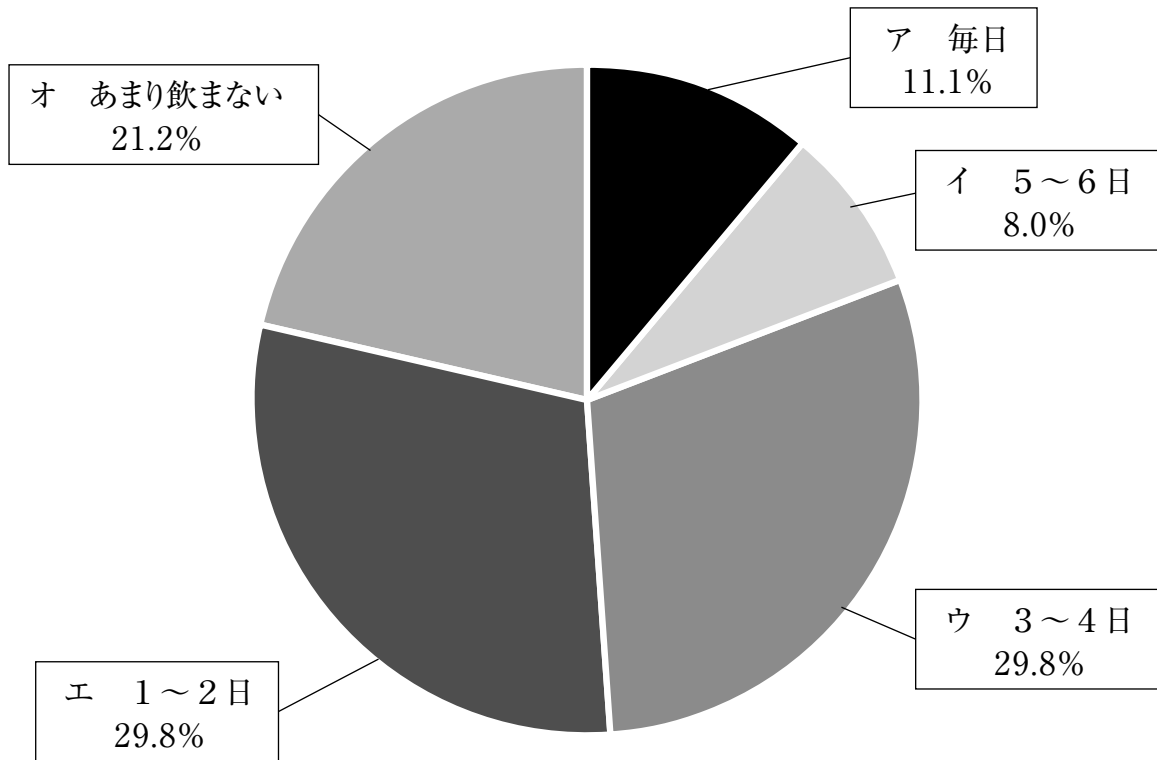
ア. 水 イ. お茶 ウ. 牛乳 エ. 100%ジュース(野菜、リンゴ、オレンジ等)
 オ. コーラ カ. アップルティー キ. サイダー ク. レモンティー
 ケ. カルピス コ. レモンソーダ サ. ヨーゴ、メイグル
 シ. その他()

5. 飲み物を買うとき、何を意識して買いますか。(1つ)

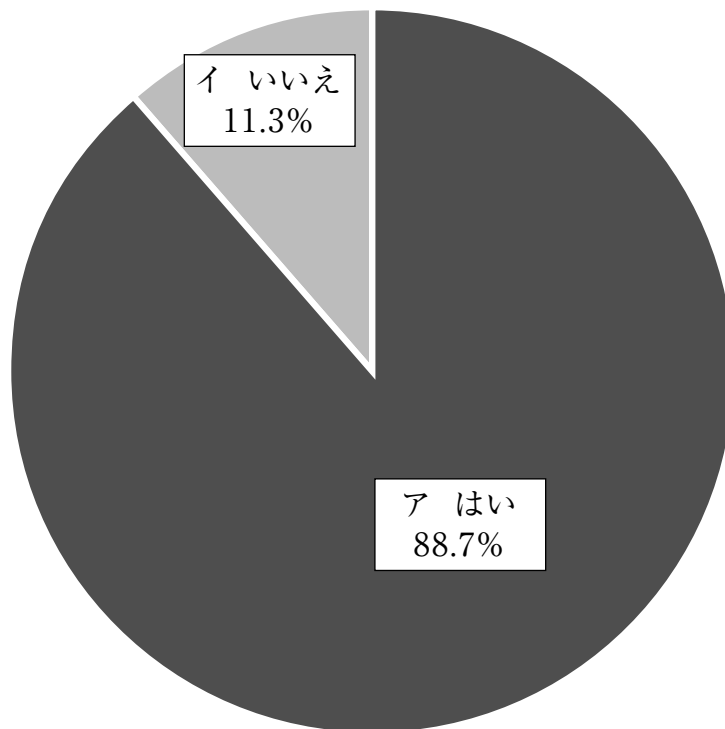
ア. あまいもの イ. あますぎないもの ウ. ノンカロリー エ. 炭酸入り
 オ. 量の多さ カ. キャンペーンの有無 キ. 値段 ク. 見た目
 カ. その他()



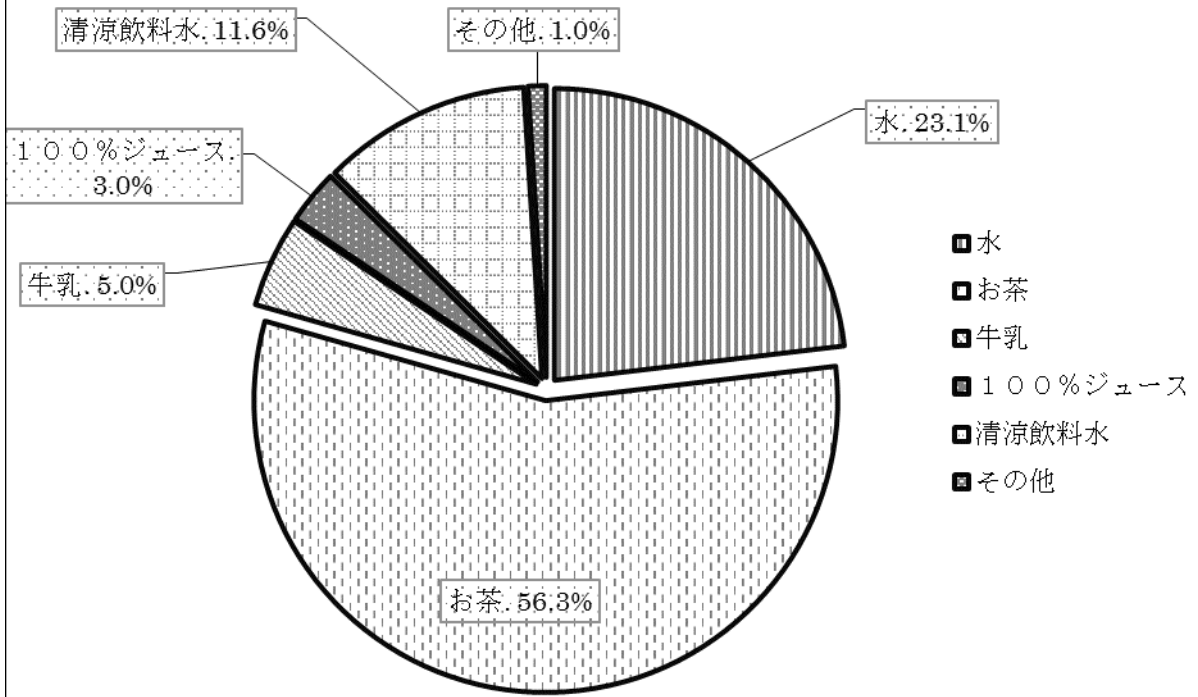
事前アンケート 一週間にどれくらい清涼飲料水を飲むか？



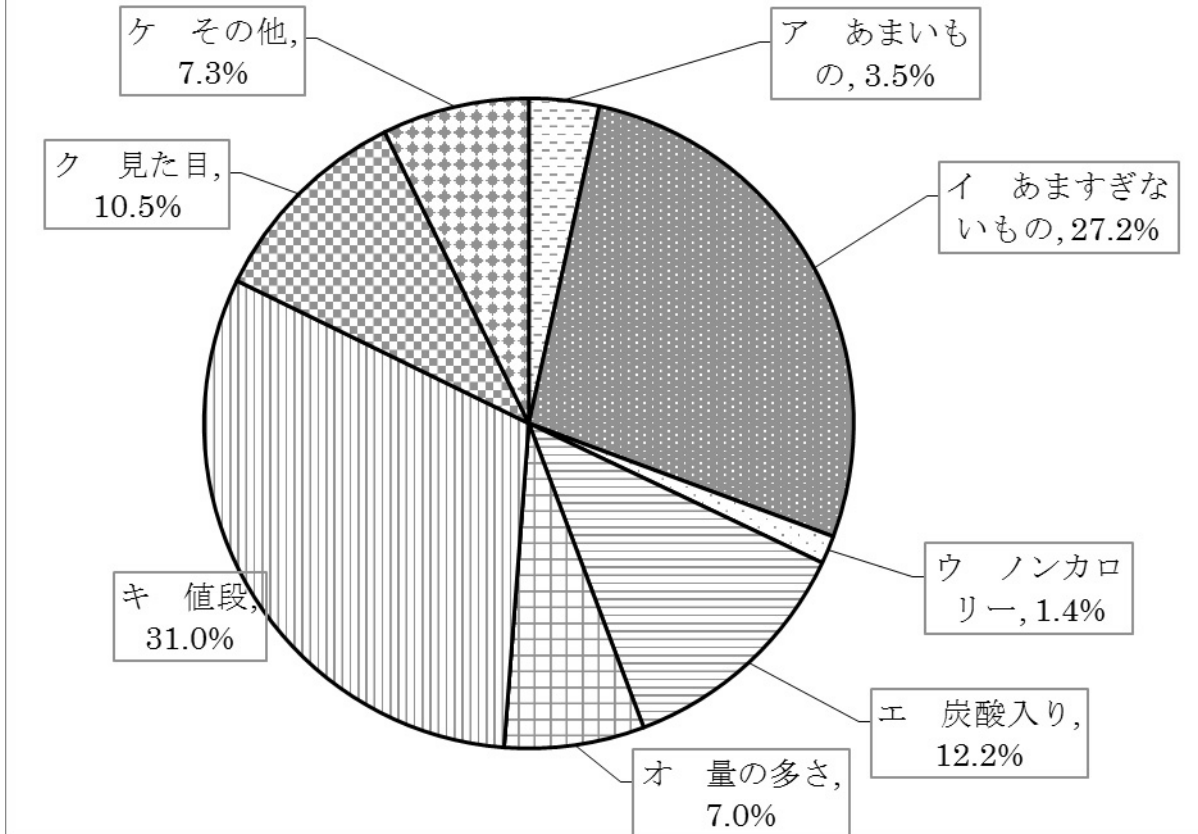
事前アンケート 食事と一緒に飲み物を飲むか？



事後アンケート 食事の際に飲みたい飲み物？



事後アンケート 購入時に何を意識するのか？



5 成果と課題

(1) 成果

- 普段飲んでいる清涼飲料水が題材だったので、児童の興味・関心を引きやすく、発言も活発であった。
- これまで知らずに飲んでいた私たちを取り巻く様々な飲み物の成分について興味を持つようになった。
- 清涼飲料水を買うとき、甘すぎないものを意識して選ぶ児童が増えた。
- 児童が自分自身の生活を振り返り、今後どういった行動を選択していくか考えるきっかけとなった。
- 授業参観日に指導したことで、清涼飲料水に含まれる砂糖の量に強い関心を示す保護者もいて、各家庭への啓発につながった。
- 指導案・掲示物・パワーポイントなどの活用しやすい資料ができた。

(2) 課題

- 学習後も、食事の際に清涼飲料水を飲んでいる子がいるので、正しい水分の取り方を自ら判断できるように継続指導をする。
- 指導内容と合わせたワークシートの作成・活用をする。
- 浦添市内研究校（6校）で研究を進めてきたが、各校の行事日程等が異なるため日程調整が難しかった。

6 資料



糖度計による、糖分の測定





※提示資料は、浦添市学校保健研究グループ以外

(浦城小学校・内間小学校・港川小学校・宮城小学校・前田小学校)

7 考察 (参考にして考察する)

児童の好きな飲み物は、炭酸の入ったものや砂糖の多く含まれている飲み物だという結果が出た。しかし、家庭での食事のときに飲み物を摂ることが多いこともあり、実際にはジュースではなくてお茶を飲んでいる児童も多かった。ジュースを買うのも保護者が大半なので、そんなに頻繁に買い与えられてはいないようである。ただ、この頃は、自動販売機でも500mlのものが多く見られるようになっているので、外出したときには、500mlのものを買う家庭が多いのではないと思われる。ペットボトルだと残してもふたをしてとっておけるので、500mlのものでも買ってしまいう傾向がある。500mlだと全部飲まないと答えた子が多かったが、それは一気に飲まないと言うだけで、実際には時間をおいて全部飲んでいるのではないかと考えられる。

実践発表

〈 報告題 〉

安全部会

「不審者に対する意識向上と危険察知・危険回避
能力を高める取組について」
～不審者避難訓練を通して～



発表者

宮城小学校

教諭：内間かおり

安全主任部会

I. 研究テーマ

不審者に対する意識の向上と危険察知・危機回避能力を高める取り組みについて
～不審者避難訓練を通して～

II. テーマ設定理由

2001年6月8日に、大阪教育大学付属池田小学校で8人の幼い尊い命が奪われるという、未曾有の殺人事件が起こった。この事件を境に学校の安全神話が崩壊したと言われている。学校は、児童生徒にとって一日の大半を過ごす場であり、その安全確保は急務である。そのためには、突然襲ってくる不審者に対して危険察知・回避能力を高めることが重要とされているが、そのような能力は一朝一夕では身に付かない。そこで、日頃から避難訓練を行うことで、避難経路を確認したり、自分の身を自分で守るためにはどのような行動をとったらよいか考えさせる場を数多く設定することで児童生徒の能力を高めたい。また、近年は学校外でも至る所で不審者による声かけや刺傷事件が後を絶たない。本市でも登下校時に児童生徒がそのようなケースに遭遇することが多々あり、安全指導の徹底が重要課題である。

これらを踏まえて、平成25年度浦添市学校保健安全部会では、各学校の訓練方法や指導法等の情報を共有し、自分の命を自分で守る子の育成を目指し、本研究テーマを設定した。

III. 研究経過

- | | |
|--------|-------------------------------|
| 6月13日 | 第34回浦添市学校保健定期総会
安全主任部会顔合わせ |
| 8月2日 | 研究テーマの検討
各学校の実践報告 |
| 8月22日 | 第1回浦添市学校保健会研究部長会 |
| 10月18日 | 各学校の実践報告 |
| 12月20日 | 課題の分析・考察・まとめ |

IV. 研究仮説

- ① 避難訓練や安全指導を行うことで不審者に対する意識が向上し、危険察知・危機回避能力が高まるであろう。
- ② 各学校の情報を共有することで、教師の意識の向上が図られるであろう。

V. 研究方法

各学校における取り組み

- ① 避難訓練の一ヶ月以上前に、一斉下校指導を行った。
- ② 各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間を活用し、各学級で安全教育を行った。
- ③ 一年を通して児童の登校時に、各学年職員とPTAによる「愛の声かけ運動」を、学校正門や裏門で行っている。
- ④ 夏休み前には、「不審者対策防犯教室」で市のスクールガードリーダーによる安全指導を行った。

VI. 避難訓練の実際

各学校の実際

○内間小学校 避難訓練実施日 5月16日(木)

学級指導

	指 導 内 容	指導上の留意点
事前	(1) 最近、不審者による事件が多発しているため、身体・生命を守る訓練が必要なことを理解させる。 (2) 不審者侵入と遭遇した場合、命を守るためにどのような行動をすればいいのか指導する。 (3) 避難経路や場所を確認する。 (4) 指導のためのDVDがあれば活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・命の大切さを理解させる。 ・いつ、どこで事件が起こるかわからないので臨機応変に行動する。 ・落ち着いて、敏速に行動する。
当日	(1) 不審者が侵入した際、安全な経路で避難し、隣学級や職員室へ異変を伝えさせる。 (2) 緊急放送の内容をしっかりと聞き、避難させる。 (3) 上履きのまま2列に並んで避難する。 (4) 避難場所での整列 (5) 人員確認および報告 (6) 全体集会 (7) 教室へ戻る	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練の特殊性から、避難訓練の日時やねらいについて、周知徹底を行う。 ・合図(放送)と同時に、教師は授業を中断。 『お・か・し・も・ち』 <ul style="list-style-type: none"> ・話を聞く態度を徹底させる。 ・上履きをきれいに拭いてから、教室へ戻る。

事後	(1) 指示通り行動できたか、学級及び各自で反省する（反省用紙の活用）。 (2) 登下校中など不審者に遭遇した場合の対応について考えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ まじめな態度で訓練を行ったか考えさせる。 ・ 非常事態の場合に、訓練で身につけたことが活かせるように指導する。
評価	(1) ねらいは達成できたか。 (2) 実施計画は適切になされたか。	

成果と課題

- ・ 避難経路の確認をすることができた。
- ・ いかのおすし一人前の確認を行うことができた。
- ・ 休み時間に不審者が来た場合の対応の仕方。
- ・ 不審者への対応をしながら子どもたちへ指示することができなかった。

○ 港川小学校 避難訓練実施日 6月7日（金）

1. 事前指導

各学級で避難訓練の意義、流れ、避難経路、注意事項等を確認した。また、避難行動の5原則「お・か・し・も・ち」の説明も行った。

2. 避難訓練時の様子

一階1年生の教室に不審者が侵入した想定で行った。職員の誘導で運動場へ避難し、その後、学校長の講評、及び不審者侵入時における心構えなどを聞いた。6分で避難完了した。

3. 事後指導について

避難訓練後、各学級で反省カード等を利用し、自己の避難の様子を振り返った。

4. 成果と課題

<成果>

- ・ 訓練後に利用する反省カードの見直しを行い、高学年の児童用カードは感想を書く欄を設け、地震・津波の訓練の際に活用できた。
- ・ 訓練と反省を一学期のうちに繰り返し行うことで、次年度計画されている地域参加型の避難訓練の準備につなげることができた。
- ・ 避難時の様子をビデオで振り返り、もっと真剣に訓練しなければならないことを児童が感じることができた。
- ・ 職員の準備として、教務必携やベルのほかに（職員の私物ではあるが）携帯電話を所持することが確認できた。

<課題>

- ・ 実際の避難場所になるであろう敷地や建物の所有者と連携をとる必要がある。
- ・ 緊急の際にすぐ職員だとわかるよう、目立つ色の帽子をかぶるなどの工夫が必要である。

○前田小学校 避難訓練実施時間 3 校時

1. 事前指導

学級活動の時間を一時間確保し、「ひとりのときがあぶない(低学年用)」、「自分で自分を守る(高学年用)」を視聴した後、「いかのおすし」や避難経路等について説明を行い、訓練の意義や必要性について理解を深めた。

また、児童の避難訓練の前に、校内研修として教職員は警察官の方から講話と実演等の不審者対策研修を受講した。

2. 避難訓練時の様子

5年生から不審者が侵入し、5年1組担任が気づき、不審者への対応を行うとともに、5年2組担任へ知らせるという想定で行った。(暗号「いかのおすしです」)その後、5年2組担任は、3組担任へ知らせ、2組・3組児童を誘導させた。次に、5年3組担任は直ちに職員室(校長・教頭)に連絡し、教頭は、直ちに校内放送で職員並び児童に対して緊急事態を知らせた。そして、近隣にいる職員は大声(防犯ベル)で近くの教室の担任児童に知らせ、各学級担任は避難経路に従って速やかに体育館へ誘導させた。

体育館への避難の際、体育館のカギが開錠されていなかったために、中に入ることが遅れてしまった。また、体育館に集合後、そろったクラスから前方中央部分から整列する予定だったが、全員が前方に入ることができず時間がかかった。全体が整列し座るまでに6分弱かかった。

(訓練の様子)





3. 事後指導について

避難場所で校長先生からの講評と浦添警察署の方からの講話を行った。低学年は、紙芝居で不審者対策のお話を聞いた。その後、各教室で反省カードを記入させ、避難訓練の様子を振り返り、次へつないだ。

○宮城小学校の取り組み 避難訓練実施日時 6月7日（金）2校時

1. 事前指導

- ・校内ビデオ放送 6月4日（火）8：20～8：35
- ・各学級で避難訓練時の行動の確認「おかしもち」「いかのおすし一人前」

2. 避難場所

体育館

3. 想定

不審者が高学年玄関より侵入。2階の6年教室に前方ドアより凶器のようなものを持って入り込む。

（訓練の様子）



4 避難後の指導

元スクールガードリーダーの多良間光幸さんに講話・講評をしていただいた。
「いかのおすし一人前」・不審者のかかし方など

5 不審者対応 職員研修会

・職員の正しい対応の仕方がいまいちわからないという昨年度の反省を踏まえ、浦添警察署の方に依頼し、職員研修会をもった。

日時：6月6日（木）16：00～16：45

場所：6年教室

講師：浦添警察署 生活安全課

内容：不審者についての知識や対応（さすまたの使い方）など

不審者役：教育企画の方

(訓練の様子)



6. 避難訓練の様子と反省

児童は、落ち着いて真剣に避難することができた。

反省であげられた事項

- ①体育館への避難ではなく、教室に待機という方法もあるのでは
- ②放送が流れてなくても、騒がしさがあれば応援に駆けつけた方がよいのでは
- ③近くで異変に気づいた職員のとるべき行動について共通理解を図った方がよい
- ④不審者役を外部にお願いできたのがよかった

浦城小学校 ○ 避難訓練の実施日 5月22日(水)

1. 事前指導

各学級ビデオ放送により「いかのおすし」を見た後で避難の仕方、避難訓練の意義、流れ、避難経路、注意事項を確認した。

ビデオ・・・朝会時間(20分程度)

確認・・・学活の時間

2. 避難訓練の様子

浦添警察署の職員立ち会いの下、お昼の休憩時間に実施した。児童は校庭や図書館、教室、トイレ、運動場とあらゆるところにいることが考えられる。そこで不審者が来たときの合い言葉を決め児童が速やかに避難することができるよう誘導することができるように計画を立てて訓練を行った。

児童は、混乱せず体育館への避難をすることができたが、休み時間を使っただけの訓練だったので体育館での児童のざわつきが目立った。

- ・合い言葉・・・「急ぎのお客様です。児童の皆さんはT行動をしてください。」
- ・T行動・・・体育館へ避難

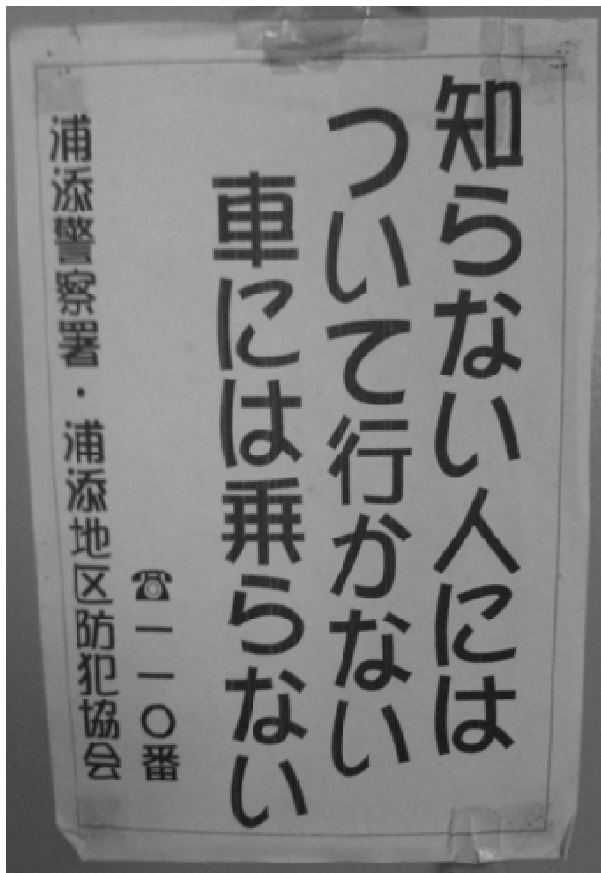
成果

- ・合い言葉を決めることでスムーズに避難することができた。
- ・休み時間に行うことで、児童の意識を高めることができた。

課題

- ・避難場所の設定。(児童数が多いため)
- ・避難後の体育館での混雑。
- ・外遊びをしている児童の靴をどうするか。(くつばこが足りないため)

Ⅶ 不審者対策における各学校の様子



(愛のひと声運動)



VIII 成果と課題

成 果

- ・各学校での事前指導や事後指導の仕方、取り組み方や指導法等を本研究を行うことで、共有することができた。
- ・本研究で学んだことをそれぞれの学校の職員に伝達することで、職員の意識を高めることができた。
- ・「いかのおすし」だけでなく「一人前」も加えることで、児童の意識をさらに高めることができた。
- ・各学校の課題について話し合うことで、それぞれの学校に活かすことができた。
- ・学校と消防の連携の必要性を改めて感じる事ができた。
- ・子どもたちの危機回避能力を把握することができた。

課 題

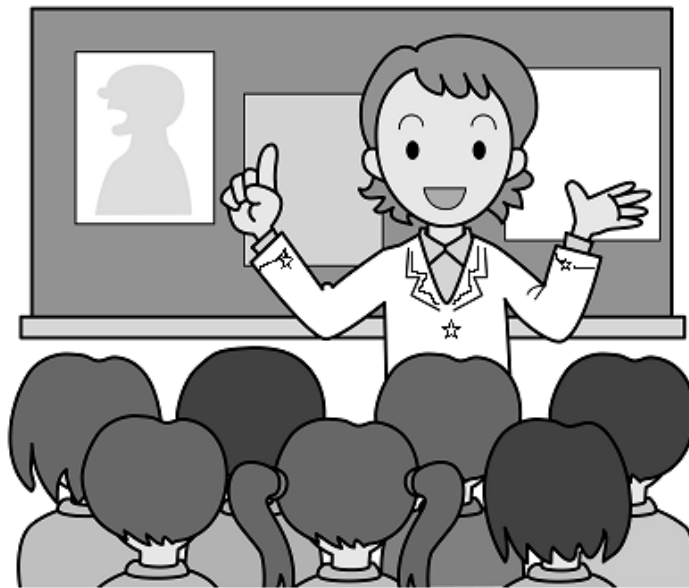
- ・訓練の際にふざける児童がいた。
- ・放送を聞くことの徹底。(休み時間や教室外でも)
- ・「いかのおすし一人前」の徹底。
- ・避難経路、避難場所の工夫。
- ・部会の時間の確保。

実践発表

〈 報告題 〉

給食部会

「栄養教諭と連携した食育指導」



発表者

仲西中学校

教諭：新城裕美

給食主任部会・栄養士部会

I 研究テーマ

栄養教諭等と連携した食育指導

II テーマ設定の理由

本研究部会では、これまで学校と栄養教諭等との連携を図りながら、小中学校の発達段階に合わせた指導案を作成し、授業を実施してきた。食の大切さは、私たちも周知していることであり、「食育」の重要性が叫ばれてからは、益々、学校・家庭・地域社会が連携し、色々な取り組みが行われているところである。

しかし、私たちの意図に反し、児童生徒は、個人の嗜好で、自由に食の選択をする機会が多くなり、危惧するところである。外食による脂質や糖分の摂りすぎや、学校給食における野菜や豆類の残量が多く、栄養バランスが崩れている現状があり、成長期である児童生徒にとって、自らがバランスの良い食生活をしていくための食の自己管理能力の育成が急務である。

今年度以降、中学校グループ、小学校Aグループ、小学校Bグループと分かれて、隔年ごとに研究を実施することになった。今年度は、中学校部会が担当し、研究を行った。中学校部会では、昨年に引き続き、中学生が自ら選択する機会の多い清涼飲料水を取り上げ、授業実践を行なった。1年間の実践として終えるのではなく、授業資料の学級担任との共有化を図り、学級活動における授業の充実を図った。食育の授業を学級活動で取り入れることは食育の大切さを全教師が考える機会にもなり、その意義は大きいと考える。

栄養教諭等と連携し、児童生徒の食生活の実態と専門的内容と結びつけた指導をすることで食の自己管理能力が育つであろうと考え、本テーマを設定した。

III 研究経過

期 日	内 容
6/13 (木)	○浦添市学校保健会総会 研究部会の結成 ○研究テーマの検討及び決定
6月	○学年会での提案 (神森中) 資料提供 模擬授業
6/12 (水) 4組	○授業実践 神森中 1学年全クラス (9クラス) 指導者 T1 担任 T2 漢那広美 (給食主任・食育担当) T3 金城奈津子 (栄養教諭)
6/13 (木) 1組	
6/14 (金) 7組 9組	
6/21 (金) 8組	
6/24 (月) 2組 6組	
6/25 (火) 5組	
7/3 (水) 3組	
7/31 (水)	○研究内容の確認 ○授業実践の経過確認
8/12 (月)	○事後アンケートの検討
9月～	○アンケートの実施 ○アンケートの集計 ○アンケートの結果 (分析・考察)
12/5 (木)	○授業の事前打ち合わせ (浦添中)

12/9 (月)	4組	○授業実践 浦添中1学年全クラス(7クラス) 授業資料作成 小橋川さつき(食育担当) 指導者 T1 担任 T2 金城奈津子(栄養教諭)
12/12 (木)	1組	
12/13 (金)	2組 6組	
12/16 (月)	5組	
12/17 (火)	3組	
12/19 (木)	7組	
12/25 (水) ~ 26 (木)	成果とまとめ	
12/27 (金)	研究報告書のまとめ	

IV 授業実践

第1学年 学級活動学習指導案

日 時 平成25年 6月 13日 4校時
場 所 神森中学校
学 級 1年 1組 男子20名 女子17名
指導者 T1 長間 直子 T2 漢那 広美
T3 金城奈津子(栄養教諭)

年間指導計画 (1)学年

学級活動(2)適応と成長及び健康安全

1 題材名 清涼飲料水のとり方を考えよう

2 目標

生徒が好んで飲む清涼飲料水について学び、水分の大切さや健康で安全な食生活を考える態度を育てる。

3 題材について

(1)生徒の実態

生徒からのアンケートの結果から、清涼飲料水をよく飲むと答えた生徒が67%いた。理由としては「おいしいから」が63%。「好きだから」12%「部活や遊んでいる時に飲みたくなる」8%、その他「家にあるから」「のどが渇くから」「気持ちいいから」「部活で飲んでいるから」「ほしくなるから」等があった。一日にどれくらい飲むかの問いに、缶200ml 1本と答えた人が30%、ペットボトル500ml 1本が45%、2本の1000ml が13%、1500mlが4%、2000mlが6%もいた。

あなたは成分表示を見て清涼飲料水を購入していますかの問いには、53%の生徒が「いいえ」と答えた。

清涼飲料水をあまり飲まないと答えた生徒は37%で、お茶や水を飲んでいると答えた。理由としては、「お茶が好き」「おいしい」「のどが渇かない」「水がさっぱりしている」「炭酸が嫌い」「家にお茶しかない」と答えている。健康面を考えて「清涼飲料水は体に良くない」「太るから」と答えた生徒は3人であった。大方の生徒は健康面を考えて選んで飲むことはないようだ。

本格的な夏を迎え、水分補給が多くなるこの時期に、水分の大切さと同時に、清涼飲料水を好む傾向にある生徒たちへ、健全な水分補給の在り方を考えさせたい。

(2) 題材観

本題材は、清涼飲料水に含まれる砂糖の多さと、砂糖のとり過ぎによる危険性を認識させることをねらいとしている。日本食事摂取基準では「1日の砂糖摂取量めやすは30gを超えない」とされている。生徒達がよく飲む炭酸飲料のペットボトル1本あたりの砂糖含有量が約50g、スポーツ飲料が約30gであることから考えると砂糖摂取過剰になっていることが予想される。人の味覚は、冷たさ、炭酸の刺激、香りや酸味で甘さを感じにくくなっているために砂糖の多さに気づきにくい。ペットボトルを持ち歩く若者が増え、清涼飲料水を大量に飲み続けることで「ペットボトル症候群」と呼ばれる急性の糖尿病が引き起こされる危険性が指摘されている。砂糖のとり過ぎは急激な血糖値の上昇をまねく。するとインスリンの分泌が過剰となり、低血糖の状態に陥る。低血糖の典型的症状は「キレる」「ムカつく」「イライラする」「無気力」「疲れやすい」などの他、脳の理性をつかさどる部分が最も影響を受けて活動できなくなる。その上、血糖上昇ホルモンのアドレナリンが分泌されることによってさらに興奮し攻撃性が増す。「キレる」「イライラする」などは、現代の若者における大きな問題となっており、砂糖のとり過ぎにもその一因があると考えられ、指導する必要がある。

(3) 指導観

学習指導要領の解説書で、「自己の健康を管理し改善していく資質や能力の基盤を育成することが重要である、栄養教諭の専門性を生かしつつ、学校栄養職員などの協力も得て指導にあたることが大切である」とある。これまで、栄養士の協力を得ながら、中学生期における食事の在り方について、インタビューや講話等で、食の大切さを学んできた。

今回は、部活動や陸上練習等のスポーツ後の水分補給が大切になるこの時期に、生徒がよく飲んでいる清涼飲料水の砂糖の量について学ばせ、よりよい水分補給の選択につなげさせたい。この授業ではまず清涼飲料水の砂糖の量を予想させ、次に栄養成分表示から、砂糖の量を調べさせる。また、スティックシュガーで、実際の砂糖の量を視覚で確認するという、授業展開を試みる。これまで、どれほど多くの砂糖を摂取していたのかを気づかせたい。更には、甘さの感覚を感じさせるために、清涼飲料水と同じ砂糖量が入った砂糖水を、飲み比べさせ、温度、炭酸、香り等で、甘味の感じ方が違うことや、砂糖のとり過ぎによる健康障害を知らせ、これからの行動の変容へと結びつけたい。

4 本時の指導

(1) ねらい

- 清涼飲料水の砂糖の量を認識し、清涼飲料水の表示を見て、購入を心がけようとする態度を身につけさせる。
- 水分の大切さや砂糖のとり過ぎによる害を理解し、日常生活での水分補給の在り方を考えさせる。

(2) 授業の工夫

生徒のよく知っている清涼飲料水を提示し、各班で砂糖の多い清涼飲料水を予想させておき、成分表示から砂糖量を調べたり、糖度計で調べた量や、実際に砂糖量を目で訴えるため、スティックシュガーを提示する。更には、清涼飲料水と同じ甘さを砂糖水で確認させ、理解を深めさせる。

(3) 準備

アンケート調査結果 清涼飲料水（数種類） 成分表（清涼飲料水のラベル）
スティックシュガー（1本3gで、飲み物の砂糖量にあわせた数）
試飲用の紙コップ（人数分）、ミネラルウォーター、砂糖水（班の数）
ワークシート 電卓（班の数） 糖度計（見本）

(4) 展開

段階	活動内容	予想される児童（生徒）の反応	◆指導上の留意点 □評価
導入 5分	1 実態調査の確認 2 学習のめあての確認	アンケートの結果から本時の学習への関心をもたせる。 (自分と違う答えがあることに気づく)	◆ 大型テレビでアンケート結果を示すことで学習への関心を持たせる。
清涼飲料水のとり方を考えよう			
展開 ① 20分	3 清涼飲料水の砂糖の量を調べる（班活動） ① 予想をたてる 提示された清涼飲料水を、砂糖の量が多い順に並べる。 ② 調べる 成分表をもとに、砂糖の量を調べる。 (炭水化物の分量を砂糖の量とする)	予想は コーラ→アップルティー→アクエリアス→ビタミンウォーター→お茶 ・予想通り ・この飲み物に、こんなに砂糖が入っているの？	◆スムーズに班活動ができるように支援する。(班長を選出など) ◆よく知っている清涼飲料水を準備しておく。 □学習に関心を持って学習に取り組んでいるか。 ◆清涼飲料水の砂糖量を調べるには、糖度計で測定する方法と表示の成分表から調べる方法があることを説明する。今回は成分表から算出するよう促す。 ◆清涼飲料水の食品表示を各班ごとに準備 □班で協力して取り組むことができたか。
展開 ③ 15分	④ 確認 調べた砂糖の量を実物のスティックシュガーで知らせる。 ④ 清涼水と同じ甘さの砂糖水を比較させる。 4 栄養教諭の話 水分のはたらき、砂糖のとりすぎによる害、清涼飲料水の上手なとり方等	驚く。 ・こんなに入っているの？ 試飲して ・清涼飲料水より甘く感じるのは何故？	◆計算した砂糖量を実物で示す。 ◆清涼飲料水が甘く感じない理由 温度、炭酸、香り、酸味が影響していたことを説明する。 ◆言語活動の充実 ④情報を分析・評価し論述する □水分の大切さや、砂糖のとり過ぎによる害を理解することができたか。
まとめ 10分	5 振り返り ワークシートをまとめる。 感想発表（2名程度） 6 教師の話		◆ワークシートのまとめがスムーズにできるように机間支援をする。 □表示を見て、清涼飲料水を購入しようとする態度が見られたか。

5 事後指導

○水分の大切さや砂糖の摂りすぎによる害を理解した上で、清涼飲料水を購入する時は表示を確かめ砂糖の量を考えながら選ぶ習慣をつけるよう促す。

板書計画

ねらい 清涼飲料水のとり方を考えよう

清涼飲料水の砂糖の量を調べよう	準備した清涼飲料水の砂糖の量の多いのは？
-----------------	----------------------

コーラ	お茶	アクエ リアス	ビタミン ウォーター	アップル ティー
-----	----	------------	---------------	-------------

<学習の流れ>

- ① 予想をたてる
- ② 調べよう（成分表から）
- ③ 確認をしよう

57g	0g	24g	24g	39g
-----	----	-----	-----	-----

糖度計で測った量を提示

それぞれの砂糖量をコーヒーのスティックシュガーで換算したら何本になるか提示

水のはたらき

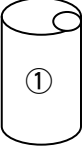
砂糖の摂りすぎによる影響

<メモ>

清涼飲料水のとり方を考えよう

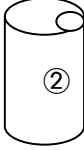
～清涼飲料水の砂糖の量・糖分の体への影響～

次の清涼飲料水には、どれだけの砂糖が入っているのかな？



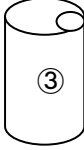
①

コ ー ラ




②

お 茶




③

アップルティー



④

アクエリアス



⑤

ビタミンウォーター

1 予想（清涼飲料水の砂糖の量が多い順に並べてみよう）

2 砂糖の量を調べる

品 名		コーラ	お 茶	アップルティー	アクエリアス	ビタミン ウォーター
調べる方法						
① 成分表	100g中の 炭水化物の量 (g)					
	炭水化物の量 × 内容量 (g)					
砂糖スティック の数	1本 (3g)					
② 糖 度 計	濃度 (%)					
	$\frac{\text{濃度}(\%)}{100} \times \text{食品の量}(\text{g})$					

3 確認（清涼飲料水の砂糖の量が多い順に並べてみよう）

4 わかったこと・感じたこと

授業の様子

学級活動で授業を行いました。

コーラにはどれくらいの砂糖が入っているかな？



コーラと同じ量の砂糖水ってこんなに甘いんだ！！



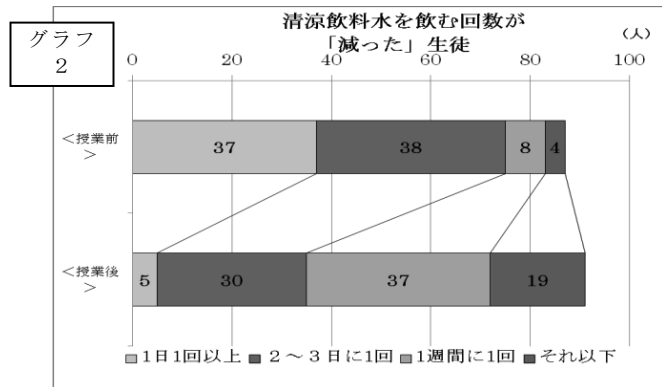
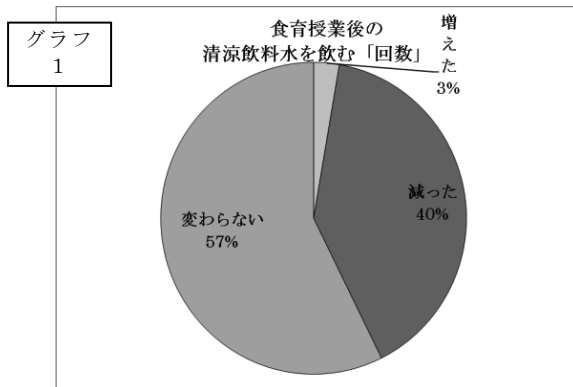
考えて飲もう！

砂糖をとりすぎると・・・

(栄養教諭)



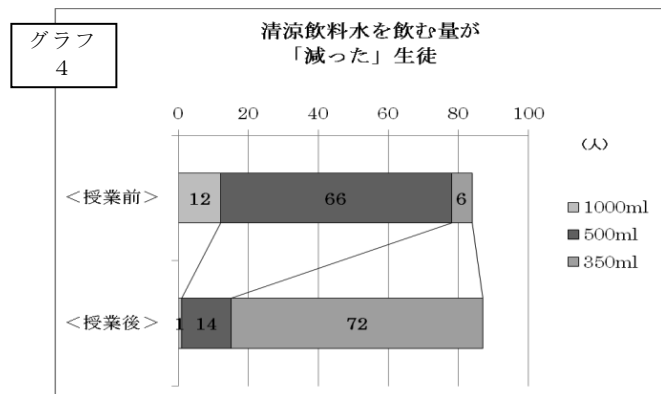
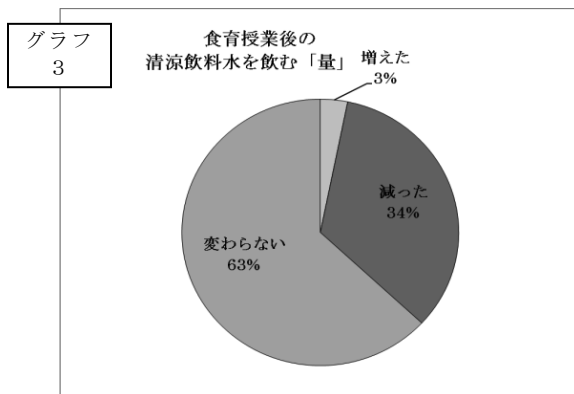
V 1 清涼飲料水の飲み方「事後アンケート」結果及び考察
(神森中学校 1学年9クラス 265名実施)



(1) グラフ1: 清涼飲料水を飲む「回数」については「変わらない」生徒が最も多く57%、次いで「減った」生徒が40%、「増えた」生徒が3%であった。

グラフ2: 授業後に清涼飲料水を飲む回数が「減った」生徒の内訳をみると、授業前には「2~3日に1回」(38人)、「1日に1回以上」(37人)と回答する生徒が多かったが、授業後には「1週間に1回」(37人)、「それ以下」(19人)の回答者が増えた。

グラフ1で飲む回数が「変わらない」生徒の中には、もともと飲む回数が少ない生徒が含まれている(授業後の記述内容より)ため、授業前に飲む回数の多かった生徒は、授業後、意識して飲む回数を減らしていると言える。

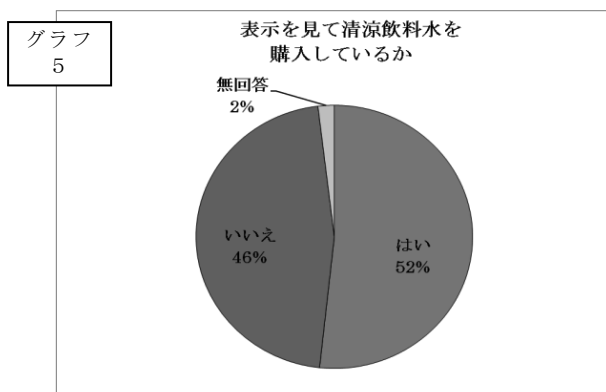


(2) グラフ3: 授業後に清涼飲料水を飲む「量」が「変わらない」生徒が最も多く63%、次いで「減った」生徒が34%、「増えた」生徒が3%であった。

グラフ4: 授業後に清涼飲料水を飲む量が「減った」生徒の内訳をみると、授業前には「500ml」(66人)、「1000ml」(12人)、「350ml」(6人)であったが、授業後は「350ml」(72人)が大きく増えた。

グラフ3で「変わらない」生徒の中には、もともと飲む量が少ない生徒が含まれているため、授業前に飲む量が多かった生徒は、授業後、意識して飲む量を減らしていると言える。

(3) グラフ5



表示をみて清涼飲料水を購入しているかについては、「はい」が最も多く52%、次いで「いいえ」が46%、「無回答」が2%であった。

「はい」「いいえ」がほぼ同じ割合であるが、授業後の記述内容には「表示をみて買うようになった」「表示をみて糖分の計算をするようになった」との回答も得られている。

表示については、糖分量以外にも添加物の有無を確認したり、清涼飲料水だけでなくお菓子の糖分量も確認する生徒もおり、今後の授業につなげていきたい。

(4) 授業を終えて、清涼飲料水のとり方がどう変わったか記述内容

- 1位 表示を見て買うようになった。(40人)
- 2位 砂糖が多く入っているのは、あまり飲まないようにしている。(35人)
- 3位 そんなに変わらない。(31人)
- 4位 清涼飲料水を水や麦茶に変えた。(16人)
- 5位 もともとあまり飲まないので、変わりません。(12人)
- 5位 1回に一気に飲むのではなく、量を分けて飲んでいる。(12人)
- 7位 飲む回数が減った(7人)
- 8位 飲まなくなった。(5人)
- 9位 清涼飲料水の話聞いても、飲む量や飲む回数が変わらないので、飲む量を減らしたいと思う。(4人)

<その他>

- 買う時に、いったん手を止めて、考えてから買うようになった。
- 同じレモンティーでも、表示を見て、砂糖が少ない方を選んで買うようになった。
- 清涼飲料水を買うときに表示を見て買うようになったし、それ以外の食品にも関心がわきました。
- 自分はあまり変わらないけど、一応はこれは砂糖がいっぱいはいっているなとか思いながら、清涼飲料水を飲んでいます。
- 誕生会などでみんなが飲んでいても、がんばって我慢した。清涼飲料水が飲みたくなっても、お茶を飲むようにしている。

<記述内容の考察>

授業後は、意識して清涼飲料水を減らしたり、購入する時も表示を確認し、より糖分量の少ない飲み物を選んでいる生徒が増えた。また、糖分量以外にも添加物の有無を確認したり、清涼飲料水だけでなくお菓子の糖分量も確認する生徒もおり「食」全体を通して砂糖の取り過ぎに注意できるようになった。栄養教諭の話が知識として残り、実践しようとする姿が見られた。

今回は、運動会の暑い時期にアンケートを実施したことも影響したと思われるが、授業後に清涼飲料水を飲む回数、飲む量が「増えた」生徒、授業前の清涼飲料水の摂取量が多く授業後も「変わらない」生徒もいた。今後も継続して意識啓発を図ることのできる授業実践が求められる。

2 学級担任の感想

学活に食育授業「清涼飲料水のとり方について」を取り組んで感じたこと

- 事前にしっかり説明があったので、とてもやりやすかった。自分自身でも今後、今回の資料を参考にしながら授業をやりたい。
- 担任と栄養士と漢那先生との授業ですばらしかった。事前アンケート結果をパワーポイントで紹介するなど、とてもよかった。
- 事前に模擬授業をしていただいたので、とても助かりました。丁寧な指導とまとめやすいワークシートを全て準備していただき、またスティックシュガーをはりつけた掲示物も生徒の興味を引きつけとてもよかった。栄養士の先生の話を目の前で聞いたこともよかった。授業直後には、生徒間でも糖分が話題になっていた。
- 日頃、口にして清涼飲料水の砂糖の量の多さに驚きました。摂取する時も考えるようになりました。今後も取り入れた方がよいと思う。

VI 成果と課題

成 果

- 特別活動の年間計画の中に食育指導を位置づけ、担任との教材の共有化で、2校において、1学年全クラスの授業実践を行うことができた。
- 担任が授業を行うことで、食の大切さについての指導が広まった。
- 担任は生徒をまとめて授業を進める、必要な資料は食育担当が準備する、専門的な内容は栄養教諭が受け持つ等、役割分担をすることで、負担を感じずに授業実践を行うことができた。
- 専門的立場の栄養教諭の話で、指導の幅が広がった。
- 学校間で食育指導を共有し、食育の充実につなげることができた。

課 題

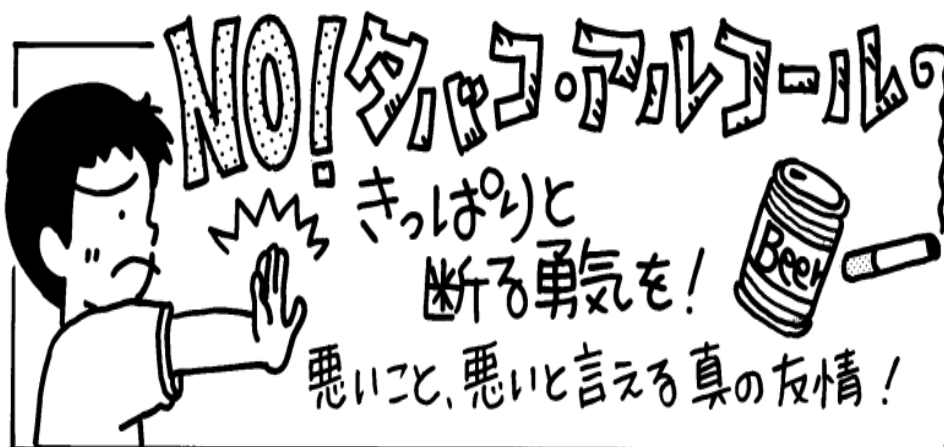
- 1学年は糖分の摂取の仕方を学習することができた。今後は2学年、3学年と3年間を見通した食育指導の充実を図りたい。各学年でどのような指導内容が必要なのか体系化を進める必要がある。
- 食に関して意識の低い生徒も多くみられる。継続した食の指導が必要である。

実践発表

〈 報告題 〉

生徒保健委員会

「喫煙防止活動報告」



発表者

浦添中学校生徒保健委員長：伊是名美紅
(保健委員会担当 養護教諭：宜保久美子)

「喫煙防止教育・禁煙サポート 浦添中学校の現状」(平成 24～25 年)

～指導から支援へ～

浦添市立浦添中学校 養護教諭 宜保久美子

【はじめに】

中学生の喫煙は非行として生徒指導・生活指導が行われてきた。喫煙行為が集団化・日常化すると、学びの場であるはずの学校がその機能、役割を果たせなくなるほどの課題となってしまう。生徒指導担当は喫煙を“学校破壊の入り口”とまで捉えていた。そこで、養護教諭として「ニコチン依存」という視点から治療に向けて医療との連携を図り積極的な支援を行うこととした。

【目的】

喫煙防止教育を実施し「吸い始めない」教育と平行してすでに喫煙をしている生徒への禁煙支援を行う。

【方法】

- ①生徒指導の下で喫煙の指導を受けた生徒は保健指導につなげ、本人のやめたいという石があれば、「治療」を支援していることを知らせる。
喫煙 ─→ 生徒指導 ・両面から指導していくことを職員で共通理解する。
└→ 保健指導 ・中学生の喫煙も「治療すべき疾患」として捉える。
- ②喫煙防止教育と禁煙治療についての講演会実施
- ③生徒指導、養護教諭、永吉奈央子先生、禁煙支援看護師と「未成年への禁煙治療」について、校区内自治会へ出向き、各々の立場から現状を報告した。3自治会で実施 (H24)
- ④生徒保健委員会では、年間を通して「喫煙防止・禁煙サポート」をテーマに活動する。

【結果】

- 「未成年の喫煙支援」という新たな視点を提案することができた。
- 禁煙支援について、喫煙者で「やめられるのならやめたい」という意志を示し、自主的に保健室に相談に来る生徒が出てきた。また仲間同士で「保健室で相談ができる」という情報が広がり、知られたくないはずの喫煙が「保健指導」して相談ができるようになった。(※このような相談は生徒指導には繋げず、あくまで保健指導支援対象とした)
- 喫煙する生徒の家族には、喫煙者がいることが多い。また、多くが仲間同士で喫煙するため、集団を抜けきれず禁煙が継続しない要因となっている。

【考察】

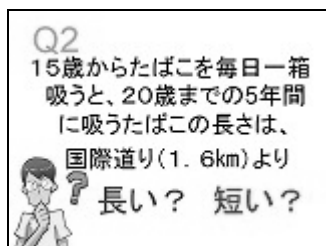
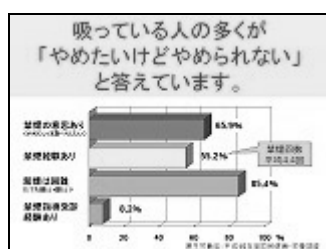
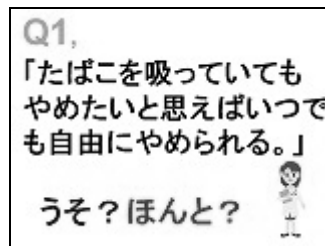
- 生徒の喫煙は、法律で禁止されていると言う一面以外に、成長期の健康的課題が大きい。飲酒の問題が出たが、その対象生徒を見たら、すべて喫煙者だったというように、他の反社会的問題行動への入り口になっているという現状がある。「喫煙をやめる」という事は、その後の危険行為や問題行動への歯止めにもなる可能性が大きいといえる。養護教諭の禁煙指導もサポーター的立場で接すると、多岐にわたる課題について相談ができ、生徒理解にもつながっていった。
- 生徒保健委員の活動で朝会での発表や呼びかけ、校内にポスターや資料掲示、看板作成等を実施した。ピア活動は、生徒へ素直に伝わって行く様子で有効な方法だと実感した。

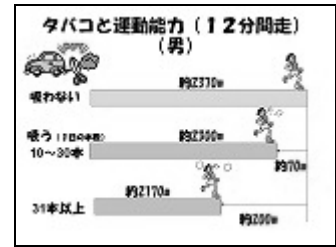
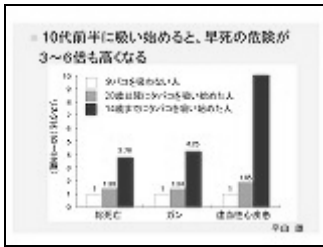
浦添中学校生徒保健委員会活動報告

「喫煙防止活動報告」

浦添中学校 生徒保健委員会 委員長 伊是名 美紅

浦添中学校では、平成25年度年間を通して、生徒自身による喫煙防止活動を行っている。校内の清掃から始まり、資料作り、ポスターや看板作りなど自分たちで気づいた事を話し合い活動を行っている。また学校内のみならず、地域へ出向き、まとめた資料を使つての講話や中学校の現状報告を行った。本日はその1年間の活動報告を行う。





Q3
日本で、たばこのせいで亡くなる人は、1日あたり約何人いるでしょう?

① 自動車1台分 (5人)

② バス1台分 (50人)

③ 飛行機1機分 (350人)

正解!

タバコのせいで亡くなる人は年間 13万人!

1日あたり約何人か? 約350人

こんな飛行機が毎日墜落していると同じ。

乗客350人の飛行機

「喫煙の怖さを知ってほしい」最後のメッセージ

その2ヶ月後、癌がんで亡くなった

33歳

13歳のときからタバコを吸い始めました。妻子を残して33歳の若くして亡くなるとは思っていませんでした。亡くなる前に、みんなに喫煙の怖さを知ってほしいと写真を公開しました

浦添中の仲間にとばこの害を真剣に受け止めて欲しい

そしてその気持ちを伝えたい



吸わないと言えぬ勇気で変わる未来

大塚市の未来を



敷地内全面禁煙

The choice is yours, Smoking or Health (WHO 2016)

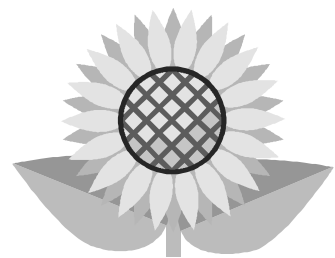
タバコを手にしますか 健康を手にしますか 選ぶのはあなた自身です

参考文献

- ・永吉奈央子先生 講演会資料より抜粋
- ・子供たちにたばこの真実を かもがわ出版 平間敬文
- ・タバコ同業作品集 ~赤ちゃんから始める禁煙活動 堂ど5室~ 第2回日本禁煙科学会学術大会の記録

資 料

- 平成25年度浦添市学校保健会役員及び理事一覧表
- 浦添市学校保健会組織
- 研究グループローテーション表及び研究大会における運営係について
- 平成25年度研究部会一覧表（名簿）
- 浦添市学校保健功労者（個人・団体）一覧
- 文部科学大臣賞・沖縄県学校保健会会長賞 功労者
- 浦添市学校保健研究大会 講演一覧



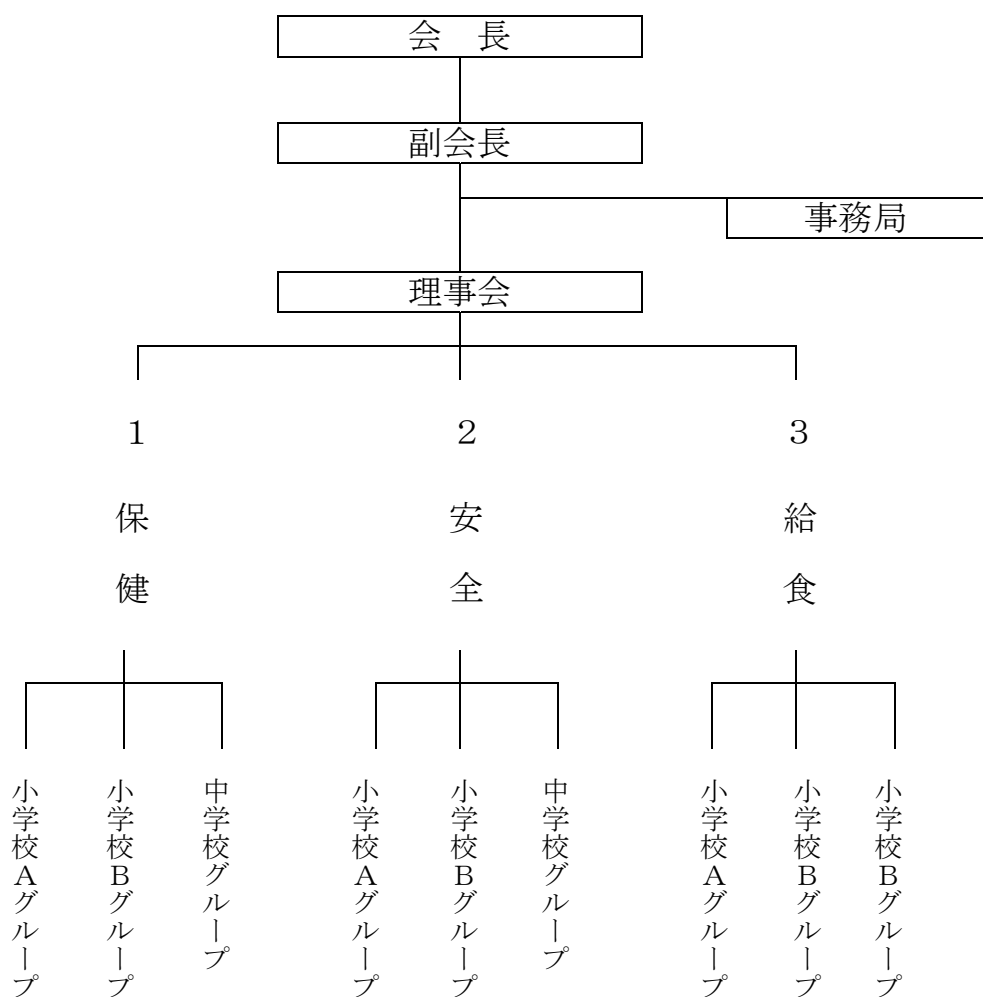
平成25年度 浦添市学校保健会役員及び理事一覧表

役員	氏名	学校番号	所属	職種	備考
会長	田場 栄作	7	内間小学校	校長	877-0369
副会長	親盛 徳三		浦添市PTA連合会	市P連会長	874-3236
副会長 (三師会代表)	座覇 周平		南部地区歯科医師会浦添支部 (経塚歯科クリニック)	歯科医師	876-7364 (支部) 876-1102 (職)
副会長	野原 由賢	14	神森中学校	教頭	877-5165
副会長	平良 亮		学校教育課	指導係長	876-1234
医師会代表	高良 聰子		浦添市医師会 たから小児科医院	医師	879-8777 (職)
事務局長	上原 利枝子		浦西中学校	養護教諭	879-3236
事務局長補佐	桃原 いつ子		浦城小学校	養護教諭	877-3335
書記	吉村 賢二		当山共同調理場	副所長	877-1217
会計	勝浦 杏里		当山共同調理場	学校栄養職員	877-1217
監事	崎濱 秀一	8	港川小学校	校長会会長	874-3236
監事	上江冽定洋		浦添市PTA連合会	市P連副会長	874-3236
理事	笠原 大吾		県薬剤師会那覇浦添支部長	薬剤師	090-1947-6306
理事	宮城アケミ	1	浦添小学校	校長	877-2064
理事	手登根 宏	2	仲西小学校	教頭	877-2067
理事	長尾 栄正	3	神森小学校	校長	877-6380
理事	前田 真利	4	浦城小学校	教頭	877-3335
理事	仲底 善章	5	牧港小学校	校長	877-4142
理事	大嶺 悟	6	当山小学校	教頭	877-7595
理事	宮城 和也	9	宮城小学校	校長	879-5312
理事	仲泊 喜	10	沢岬小学校	教頭	879-3238
理事	長濱 京子	11	前田小学校	校長	879-1947
理事	内田 篤	12	浦添中学校	教頭	877-2066
理事	山田 宏	13	仲西中学校	校長	877-2070
理事	當間 正和	15	港川中学校	校長	876-1323
理事	池原 盛浩	16	浦西中学校	教頭	879-3236
理事	山田久美子		仲西小学校	養護教諭	保健部会
理事	比嘉 正和		内間小学校	教諭	安全部会
理事	新城 裕美		仲西中学校	教諭	給食部会

※各学校理事は年度毎に各学校の校長・教頭が交代である。(方法は、浦添市学校連絡表の上段より

1～16までの番号を配し、学校番号の奇数・偶数を用い、平成25年度においては、奇数校は校長、偶数校は教頭が理事である)但し、会長・副会長・監事は理事を兼任する。

浦添市学校保健会組織



学校保健の情報収集・調査・研究を通して健康教育（保健・安全・給食）推進を図る。

専門部会 (メンバー)	活動内容
保 健 (養護教諭、保健主事)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康に関すること ・健康教育の推進 ・その他
安 全 (安全主任)	<ul style="list-style-type: none"> ・校内安全に関すること ・地域連携 ・通学路に関すること ・その他
給 食 (給食主任、栄養士)	<ul style="list-style-type: none"> ・給食指導・食育に関すること ・給食主任・栄養士との連携 ・給食献立の研究調査 ・その他

研究グループローテーション表 及び研究大会における運営係について

※研究グループにあたる前年に、研究大会運営に当たる

部会名 (メンバー)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	研究グループ 担当校 （グループ長 副グループ長 選出）	研究大会 運営係	研究グループ 担当校 （グループ長 副グループ長 選出）	研究大会 運営係	研究グループ 担当校 （グループ長 副グループ長 選出）	研究大会 運営係	研究グループ 担当校 （グループ長 副グループ長 選出）	研究大会 運営係	研究グループ 担当校 （グループ長 副グループ長 選出）	研究大会 運営係
保健部会 (保健主事 養護教諭)	小学校Aグループ	小学校Bグループ	小学校Bグループ	中学校グループ	中学校グループ	小学校Aグループ	小学校Aグループ	小学校Bグループ	小学校Bグループ	中学校グループ
	浦添小 仲西小 神森小 牧港小 当山小 沢岬小	浦城小 内間小 港川小 宮城小 前田小	浦城小 内間小 港川小 宮城小 前田小	浦添中 仲西中 神森中 港川中 浦西中	浦添中 仲西中 神森中 港川中 浦西中	浦添小 仲西小 神森小 牧港小 当山小 沢岬小	浦添小 仲西小 神森小 牧港小 当山小 沢岬小	浦添小 仲西小 神森小 牧港小 当山小 沢岬小	浦城小 内間小 港川小 宮城小 前田小	浦城小 内間小 港川小 宮城小 前田小
安全部会 (安全主任)	小学校Bグループ	中学校グループ	中学校グループ	小学校Aグループ	小学校Aグループ	小学校Bグループ	小学校Bグループ	中学校グループ	中学校グループ	小学校Aグループ
	浦城小 内間小 港川小 宮城小 前田小	浦添中 仲西中 神森中 港川中 浦西中	浦添中 仲西中 神森中 港川中 浦西中	浦添小 仲西小 神森小 牧港小 当山小 沢岬小	浦添小 仲西小 神森小 牧港小 当山小 沢岬小	浦城小 内間小 港川小 宮城小 前田小	浦城小 内間小 港川小 宮城小 前田小	浦添中 仲西中 神森中 港川中 浦西中	浦添中 仲西中 神森中 港川中 浦西中	浦添小 仲西小 神森小 牧港小 当山小 沢岬小
給食部会 (給食主任 栄養士)	中学校グループ	小学校Aグループ	小学校Aグループ	小学校Bグループ	小学校Bグループ	中学校グループ	中学校グループ	小学校Aグループ	小学校Aグループ	小学校Bグループ
	浦添中 仲西中 神森中 港川中 浦西中 浦添調理場	浦添小 仲西小 神森小 牧港小 当山小 沢岬小 港川調理場	浦添小 仲西小 神森小 牧港小 当山小 沢岬小 港川調理場	浦城小 内間小 港川小 宮城小 前田小 浦添調理場	浦城小 内間小 港川小 宮城小 前田小 浦添調理場	浦添中 仲西中 神森中 港川中 浦西中 港川調理場	浦添中 仲西中 神森中 港川中 浦西中 港川調理場	浦添小 仲西小 神森小 牧港小 当山小 沢岬小 浦添調理場	浦添小 仲西小 神森小 牧港小 当山小 沢岬小 浦添調理場	浦添小 仲西小 神森小 牧港小 当山小 沢岬小 浦添調理場

平成25年度 研究部員一覧表

※○印が今年度の研究担当校

学校番号	学校名	校長・所長	電 話	FAX	保健部会		安全部会	給食部会	
					養護教諭	保健主事	安全主任	給食主任	栄養士
1	浦添小	宮城アケミ	877-2064	870-4755	○岸本 信子	○糸洲わかの	富里奈々子	名嘉原奈津子	
2	仲西小	大川 実	877-2067	877-2810	○山田 久美子	○田中 明子	狩俣 満世	金城 周子	(浦調)○金城奈津子 (浦調)○比嘉 優子
3	神森小	長尾 栄正	877-6380	877-6423	○下地 京子	○安慶名綾子	中村 麻莉	上原奈里子	
4	浦城小	高良 政幸	877-3335	877-3293	鳩間 優子 桃原 いつ子	石川 弘子	○島袋 紀恵	我喜屋桂子	
5	牧港小	仲底 善章	877-4142	877-4241	○桃原 鈴佳	○比嘉 泰子	玉城 貴子	天久 優子	(当調)勝浦 杏里 (当調)新里 成美
6	当山小	富田 尚	877-7595	877-7538	○照喜名紀美花	○座安 愛	沢岬より子	岸本みどり	
7	内間小	田場 栄作	877-0369	877-0698	金城 輝美		○比嘉 正和	識名まりも	
8	港川小	崎濱 秀一	879-1974	879-1975	上地 久美子	長川 由美	○當山 麻美	久手堅郁子	
9	宮城小	宮城 和也	879-5312	879-5313	山里 牧子	上運天久江	○内間かおり	児玉とも子	
10	沢岬小	仲間 公子	879-3238	879-3256	○州鎌 美智子	○金城 正	伊元美希子	平野 峰子	
11	前田小	長濱 京子	879-1947	870-4756	平良 香織		○久保田有希奈 (富原 祥子)	宇江城 香	
12	浦添中	玉城 甚	877-2066	877-2808	宜保 久美子		善平 知	○嘉数 朝子	(浦調)○高良 沙織
13	仲西中	山田 宏	877-2070	877-2826	金城 陽子 松川 佳代	親泊 道子	仲宗根 歩	○新城 裕美	
14	神森中	大城 正	877-5165	877-5597	山里 春菜 川平由樹乃(野中えりな)	知花友香子	山端なつき	○漢那広美	
15	港川中	當間 正和	876-1323	876-1991	與島 志津江 玉城 涼香		池原 幹	○兼次 考枝	
16	浦西中	山城 淳二	879-3236	879-8519	上原 利枝子		下地 雄大	○當眞 望	
浦添市立学校給食調理場所長		吉本 真紀雄	877-6716	877-5745	当山共同調理場	877-1217 (FAX)877-8717	浦添共同調理場	877-6716	

浦添市学校保健会功劳者（個人・団体）一覧

平成3年度より表彰が始まる

学年度	学校医	歯科校医	学校薬剤師	校長	教頭	教諭・主事	養護教諭	共同調理場	PTA
平成3年度	仲吉 朝彦 大宜味 繁 友利 哲二 饒波 剛 多々羅 靖弘 山口 栄豊 末吉 推純 平安 常良 山内 義正	島袋 進 高良 恒巳 友利 時野 徳山 清宗 座覇 秀政 伊礼 兼治	大城 清子 新川 節子 小渡 宏二 又吉 美智子	前田 貢		西平 静子 (給食主任) 宮里 滝子 (安全主任)	上間 芳子 屋比久志津子 桑江 初枝 宮長 加代子 下地 シゲ子	棚原 増美 山里 美江子	
平成4年度	大城 喜寿郎				大城 節子		大城 光子	島袋 郁子 田場 盛吉 (調理員)	又吉 幸盛
平成5年度	豊見山 永昭 篠田 東洋 上里 忠敏	上原 淳 真境名 由守 高宮城 貴之 城間 吉弘 安里 博 宮城 トシ	仲里 昌樹	井上 実		新屋 信子 (事務局長)			
平成6年度				奥平 一	大城 昌周	金城 文子 (幼稚園教諭)	喜瀬 茂代	井川 あつ子 知念 松子 (調理員) 宮城 清真 (調理員)	山本 英吉
平成7年度							渡名喜 洋子 平良 勢律子 我如古恵美子 渡口 千鶴子		
牧港小学校 (団体表彰)									
平成8年度	会運営がなされず功劳者表彰は行われなかった。								
平成9年度	会運営がなされず功劳者表彰は行われなかった。								
平成10年度	狩俣 陽一 高良 聡子 玉城 英征	下地 隆之 友利 清一 湖城 秀久	大城 博次 池間 記世	安谷屋 進 伊佐 節子 仲西 盛光		富間 慶一 棚原 達子 (保健主事)	渡口 勝子	葛原 桂子	砂川 昌逸 嘉手苺 清三
平成11年度	長嶺 安哉 嶺井 進				福地 次郎助		大石 淳子 下地 美智子		森田 茂
平成12年度	伊地 紫彦	当間 淳司 上里 忠昭		新盛 勇 前泊 浦美		糸洲 尚美 (幼稚園教諭)	平良 みゆき	大城 良男 (調理員)	瀬長 兼三
平成13年度	仲西 義祐 渡久山 博美				中座 包子	高安 幸子 (幼稚園教諭)	仲宗根 悦子		渡久山 昇
平成14年度	玉那覇康一郎			山城 将広	桃原 廣市	新城 健	砂川 桂子	宮城 正宏	西銘 生弘
平成15年度	東 幸子			池田 卓雄	稲福 盛敏	名城 弘子 (給食主任) 金城 順子 (幼稚園教諭)	平 昌子	岡原 榮健 新城 安孝 (調理員)	
平成16年度	仲間 清太郎					稲福 英子 (幼稚園教諭)	座間味ちえ子	松茂良 春子 比嘉 信光 比嘉 武廣 (調理員)	新垣 和歌子
平成17年度	下地 克佳	長嶺 尚子		伊禮 厚子	宮城 政信			東川上 栄恒 (副所長)	比嘉 克政
平成18年度	新川 唯彦				名城 克哉	天久 優子 伊礼 アツ子		伊佐 幸子 吉田 房子	石川 晴美
平成19年度	具志堅美由紀	富島 修		並里 勝義 東恩納 吉一 金城 聡 池田 博暁	玉城 甚 川村 和久		宮里 春江	宮良 長成 中本 正憲	荷川取 優
平成20年度	新垣 義清				宮里 貞弘	前村 喜春 宮城 清美 (幼稚園教諭)	嘉数 朝子	玉城 和夫 東浜 卓恵	

浦添市学校保健会功劳者（個人・団体）一覧

学年度	学校医	歯科校医	学校薬剤師	校長	教頭	教諭・主事	養護教諭	共同調理場	PTA
平成21年度	岸本 眞知子 上間 進	福里 英彦 比嘉 洋子		石川 武	高江洲 弘美		下地 京子		大木 陽一郎
平成22年度	健山 幸子 安谷屋 智	川畑 剛				平田輝代美 (幼稚園教諭)	鳩間 優子		
平成23年度	中村 豊一	山内 忠	池間 正	城間 健二		仲盛 康治	花城 陽子 具志堅 綾子	底田 春奈	浜崎 芳久
平成24年度	清水 健			銘苺 健	新城 美高	松田 孝 伊敷 佑子 (幼稚園教諭)	與島 志津江	伊禮 輝	
平成25年度		根間 昌輝						定歳 尚子	池原千佳子

※表彰規定一部改正（平成25年1月10日）により、学校保健会運営委員に対しては、功劳者表彰から感謝状授与に変更となった。

文部科学大臣賞・沖縄県学校保健会会長賞 功労者

平成3年度	・ ・ ・ 平田 良吉（学校長）	文部大臣賞（安全）
〃	・ ・ ・ 棚原 増美（栄養士）	沖縄県学校保健会会長賞
〃	・ ・ ・ 屋比久志津子（養護教諭）	沖縄県学校保健会会長賞
平成4年度	・ ・ ・ 下地 シゲ子（養護教諭）	沖縄県学校保健会会長賞
平成5年度	・ ・ ・ 友利 時野（歯科医師）	沖縄県学校保健会会長賞
平成9年度	・ ・ ・ 小渡 宏二（薬剤師）	沖縄県学校保健会会長賞
平成10年度	・ ・ ・ 宮長 加代子（養護教諭）	沖縄県学校保健会会長賞
平成12年度	・ ・ ・ 下地 シゲ子（養護教諭）	日本医師会会長賞
〃	・ ・ ・ 大石 淳子（養護教諭）	沖縄県学校保健会会長賞
平成14年度	・ ・ ・ 下地 美智子（養護教諭）	沖縄県学校保健会会長賞
平成16年度	・ ・ ・ 山城 将広（校長）	沖縄県学校保健会会長賞
〃	・ ・ ・ 浦添共同調理場	文部科学大臣表彰
平成17年度	・ ・ ・ 伊禮 兼治（歯科医師）	沖縄県学校保健会会長賞
〃	・ ・ ・ 砂川 桂子（養護教諭）	沖縄県学校保健会会長賞
〃	・ ・ ・ 比嘉 信光（調理員）	沖縄県学校給食研究協議会会長賞
平成18年度	・ ・ ・ 平良 勢津子（養護教諭）	沖縄県学校保健会会長賞
平成19年度	・ ・ ・ 池田 博暁（校長）	沖縄県学校保健会会長賞
平成20年度	・ ・ ・ 多々羅 靖弘（学校医）	沖縄県学校保健会会長賞
平成21年度	・ ・ ・ 我如古恵美子（養護教諭）	沖縄県学校保健会会長賞
平成23年度	・ ・ ・ 花城 陽子（養護教諭）	文部科学大臣表彰(学校保健功労)
〃	・ ・ ・ 下地 京子（養護教諭）	沖縄県学校保健会会長賞
平成25年度	・ ・ ・ 多々羅靖弘（学校医）	文部科学大臣表彰

浦添市学校保健研究大会

【講演一覧】

回数	開催日	演 題	講 師
7	昭和61.2.25	子どもの成人病予防について	浦添中校医 金城国弘
9	昭和63.2.25	子どもの歯の健康	高良歯科医院 高良恒己
10	平成元.3.11	シンポジウム①性教育の進め方	浦添中校医 金城国弘
		②学校経営と子どもの健康	教師 川満トミ子
		③子育てを通して考えること	PTA（父母） 当間明子
11	平成 2.3.15	口腔の疾患について	浦添中歯科校医 伊禮兼治
12	平成 3.2.28	教師として青少年の非行にどう対処するか。	総合教育研究所 所長 菊池藤吉
13	平成 4. 3. 3	子どもの健康を考える ～絵画療法を通して～	平安病院 臨床心理士 金城孝次
14	平成 5. 3. 2	「心が痛い」子どもたちのために	県立那覇病院小児科 臨床心理士 松岡素子
15	平成 6. 3. 4	基本的生活習慣の形成と情緒の安定 ～ 心理学的視点から ～	キリスト教短期大学 教授 渡久地政順
17	平成 8. 3. 7	「いじめ」 ～精神科医の立場から～	城間医院 院長 城間政州
18	平成10.2.26	世界制覇への道 ～夢へのステップアップ～	県教育庁保健体育科 佐久本嗣男
19	平成11.2.25	浦添市の学校事故の現状と今後の課題	浦添市教育委員会指導部長 島袋栄弘
20	平成12. 2.24	本県の学校保健の現状と課題 ～学校保健委員会の活性化をめざして～	県教育庁保健体育科 宮城明
21	平成13. 2.22	薬物乱用防止について	浦添警察署少年課 池原泰子
22	平成14. 2.28	スポーツと歯	湖城歯科クリニック 院長 湖城秀久
23	平成15. 2.27	浦添市の子どもたちの心と体の健康づくり ～学校医、小児科の立場から～	たから小児科医院 医師 高良 聡子
24	平成16. 2.26	いのち育む食教育を求めて	琉球大学名誉教授 農学博士 尚弘子
25	平成17. 2.17	子どもの心（目的をもち努力する意志） を育てる教育・子育て	琉球大学教育学部 教授 島袋恒男
26	平成18. 2.15	幼児・児童・生徒に多い耳鼻科的疾患 ～耳鼻科の立場から～	げんか耳鼻咽喉科院長 源河朝博 〃 看護師長 リージャー理香
27	平成19. 2.15	子どもの目・眼 ～治療と予防～	新里眼科医院院長 新里研二
28	平成20. 2.21	学校生活で注意すべきアレルギー患者について	岸本こどもクリニック 院長 岸本真知子
29	平成21. 2.12	子どもと親のヘルスプロモーション	日本歯科大学生命歯学部衛生学講座・ 同大学院教授 医学博士 八重垣 健
30	平成22. 2.18	検診で見つけてほしい小児内分泌疾患	ぐしけん小児科 院長 具志堅 美由紀
31	平成23. 2.17	小っちゃんな行いを大切にしよう	興南学園 野球部監督 理事長 我喜屋 優
32	平成24. 2. 9	薬物乱用防止教育の必要性和県内の現状 について	沖縄県警察本部 生活安全部 警部 池原泰子
32	平成25. 2.21	基本的生活習慣とたくましく生きる力の 育成	伊平屋村教育委員会教育長 東恩納 吉一

※その他「スポーツ医学」（武内整形外科武内先生）、「目の健康」（日本健康倶楽部沖縄支部雨崎先生）の講演がありました。

第34回 浦添市学校保健研究大会

編集 浦添市学校保健会事務局
浦添市立浦西中学校内
〒901-2104 浦添市当山3-1-1
TEL 879-3236 FAX 879-8519

印刷 光文堂コミュニケーションズ株式会社
〒901-1111 南風原町字兼城577
TEL 889-1043 FAX 835-6111